



こんにちは

とみさと議会です

発行 / 富里市議会
編集 / とみさと議会報編集特別委員会
発行日 / 平成20年8月10日
住所 / 〒286-0292
千葉県富里市七栄652-1
TEL:0476-93-1111
FAX:0476-91-3595

第159号

第25回

富里スイカロードレース大会



給スイカ所



九十九荘前



表情

6

平成20年
月定例会

おもな
内容

6月定例会の議案と議決結果…………… 2

委員会の構成…………… 3

一般質問…………… 4

高規格救急車の契約可決 (平成21年2月配備予定)

消防署に配備されている救急自動車が13年を経過し、また、救急業務の高度化に対応するため、国庫補助事業により、災害対応特殊救急自動車・高度救命用処置資機材を購入するものです。



小学生の消防署見学

6月定例会の議案と議決結果

市長提出議案

承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（富里市保育の実施に要する費用の徴収に関する条例の一部を改正する条例）	多数承認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて（富里市税条例の一部を改正する条例）	多数承認
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて（富里市都市計画税条例の一部を改正する条例）	全会承認
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（富里市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	多数承認
同意第1号	固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて（中川光男氏）	全会同意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて（増田 功氏）	適任である旨答申
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて（曽根正雄氏）	適任である旨答申
議案第1号	富里市道路線の認定について（市道2-0143号線）	全会可決
議案第2号	富里市道路線の変更について（市道2-0140号線）	全会可決
議案第3号	富里市公共下水道施設の建設工事委託に関する基本協定の一部を変更する協定の締結について	全会可決
議案第4号	契約の締結について（災害対応特殊救急自動車・高度救命用処置資機材購入）	全会可決
議案第5号	富里市監査委員条例の一部を改正する条例の制定について	全会可決
議案第6号	富里市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	全会可決
議案第7号	富里市道路占用料条例の一部を改正する条例の制定について	全会可決
議案第8号	平成20年度富里市一般会計補正予算（第1号）	多数可決
議案第9号	平成20年度富里市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	全会可決

6月定例会は、6月3日から始まり、6月18日まで16日間の会期で開かれました。
市長から議案九件、承認四件、同意一件及び諮問二件が提出され、それぞれ原案どおり可決・承認・同意・答申しました。
一般質問は、一人の議員が行い、市の諸問題について見解を求めました。

対面方式による一般質問を実施

市民によりわかりやすい市議会を目指して平成18年3月定例会の一般質問から、「一問一答方式」を導入してきましたが、より議論を深めていこうと、今定例会から質問者席を設置し、「対面方式」により実施していくこととしました。

柏崎のり子議員

長年にわたり市政の振興に努められました功績により、全国市議会議長会から柏崎のり子議員が表彰され、6月3日の本会議場において表彰状が伝達されました。

6月14日に岩手県内陸南部で発生した岩手・宮城内陸地震により被災された方々に対し、心から哀悼の意を表するとともに、地震で被災された方々への支援に役立ててもらうよう、市議会議員全員から募り、義援金として日本赤十字社の岩手・宮城両県支部に各10万円を贈りました。

富里市議会議席表											
農業委員会 事務局長		水道課長		都市建設部参事兼 建設課長		議会議務局員		議会議務局員		会計管理者	
産業経済課長		総務部参事兼 総務課長		都市建設部参事兼 財政課長		局長		監査委員 事務局長		健康福祉部参事兼 社会福祉課長	
経済環境部部長		総務部部長		副市長		議長		教育総務課長		消防次長	
		市長		演壇				教育次長		消防長	
6 高橋 益枝 5 清一 4 猪狩 一郎				質問者席				3 櫻井 優好 2 中間 幸一 1 塩田 和夫			
15 佐藤 繁夫		14 栗原 恒治		13 押尾 隆		12 高橋 保夫		11 布川 好夫		10 大川原 きみ子	
										9 立花 廣介	
										8 中野 信二	
										7 柏崎 のり子	
20 江原 利勝		19 鈴木 英吉		18 杉山 治男		17 窪田 優		16 秋本 真利			
傍聴席											

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	議席番号
江 原 利 勝	副 議 長 鈴 木 英 吉	杉 山 治 男	窪 田 優	秋 本 真 利	佐 藤 繁 夫	栗 原 恒 治	押 尾 隆	高 橋 保 夫	布 川 好 夫	大 川 原 き み 子	立 花 廣 介	中 野 信 二	柏 崎 の り 子	高 橋 益 枝	原 清 一	猪 狩 一 郎	櫻 井 優 好	中 間 幸 一	塩 田 和 夫	氏 名
公明クラブ	フォーラム富里	市政会 (会派 代表者)	市政会	市政会	市民クラブ	市民クラブ	市民クラブ (会派 代表者)	市政会	公明クラブ (会派 代表者)	公明クラブ	清風会	清風会 (会派 代表者)	日本共産党	市民クラブ	市民クラブ	フォーラム富里 (会派 代表者)	フォーラム富里	フォーラム富里	フォーラム富里	所属会派 又は所属政党名
○		○					長						○		○		副			総務常任委員会 (6 名)
			○		長			○		○	副			○					○	教育福祉常任委員会 (7 名)
	○			長		○			副			○				○		○		経済環境建設 常任委員会 (7 名)
		長		○		副			○			○			○					議会運営委員会 (6 名)
		副		長					○		○		○			○				空港対策特別委員会 (6 名)
	長				○			副		○		○			○			○		合併問題特別委員会 (7 名)
○	○	○	長	○	○	○	副	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議会改革特別委員会 (20 名)
			長					○		○	○			副	○				○	とみさと議会報編集 特別委員会 (7 名)

長：委員長 副：副委員長 ○：委員

(平成20年7月10日現在)

委員会の構成

一般質問

6月定例会では、6月5日から10日までの三日間にわたり一般質問が行われ、市政に対し活発な議論が行われました。詳細については、市立図書館にて会議録（8月下旬発行予定）の閲覧又は富里市議会ホームページ（8月下旬掲載予定）をご覧ください。

本文は質問者自身の原稿によるものです。

一般質問通告項目

佐藤繁夫

- (1) 教育問題
- (2) 地震対策について

窪田 優

- (1) 住民基本台帳カードの利用状況について
- (2) 富里市の高齢化予測と安心対策について

大川原きみ子

- (1) 福祉マークについて
- (2) 子育て支援について
- (3) 各地区からの要望事項について
- (4) 公共交通網整備について

立花廣介

- (1) 学校耐震化計画を前倒しせよ
- (2) 後期高齢者医療制度
- (3) 環境基本計画について

高橋保夫

- (1) 安全な街づくりについて
- (2) 早寝早起き朝ごはんについて
- (3) 不登校やいじめ問題について

布川好夫

- (1) まちづくり寄附条例について
- (2) 地球温暖化対策推進について
- (3) 防災対策の推進について
- (4) 学校地域支援事業について

中野信二

- (1) 日吉台地区の諸問題
- (2) 入札方法の改善について

猪狩 一郎

- (1) 日吉台共有施設管理組合の管理運営している真空ごみ輸送施設について
- (2) 成田空港都市づくり推進会議について

大川原きみ子

- (3) 公民館、北部コミュニティセンターの使用料の見直しについて
- (4) 地域包括支援センターの活動状況について

秋本真利

- (1) 基盤整備について
- (2) 合併浄化槽（補助政策）について
- (3) 各種政策・事業について

中間幸一

- (1) 成田国際空港都市づくりについて
- (2) 成田・富里のごみ処理施設建設計画と本市の現状について
- (3) 水道事業について

柏崎のり子

- (1) 成田・富里のごみ処理施設建設計画と本市の現状について
- (2) 乳幼児医療費助成について
- (3) 水道事業について

問 富里市の地震対策は

答 食糧備蓄、避難体制の強化等図ります

佐藤繁夫

問 多数の犠牲者を出した中国四川省の地震被害は、天災だけではなく人災によるものも多く含まれていると伝えられています。

地震については日本も多発地帯ですので、これに対応できるよう対策は常に講じておく必要があると思います。そこで、

避難場所の安全確保について
水・食糧の確保対策について

避難方法、対策、訓練について

答 避難場所となる学校施設の耐震化については、昨年度教育委員会が策定した教育施設耐震化整備等事業計画に基づき、計画的に整備を実施いたします。

飲料水については、五〇〇mlのペットボトル一、五六〇本と、容量一〇ℓの給水袋八〇〇袋を備蓄しています。食糧はアルファ米六、〇〇〇食、備蓄用パン二、一二二食の備蓄があり、今後も計画的に備蓄いたします。

避難方法は、避難を要する地区住民に避難勧告または避難指示を



耐震強化予定の南小体育館

発令し、市職員、消防団、自主防災組織等が避難誘導を行います。避難訓練は、各自主防災組織が実施しておりますが、市としては避難訓練の実施を検討いたします。なお、二次的避難場所として地区集会所等の利用も検討いたします。

問 市の六五歳以上の人口と高齢化率は

答 七、八二二人、高齢化率一五・一四％

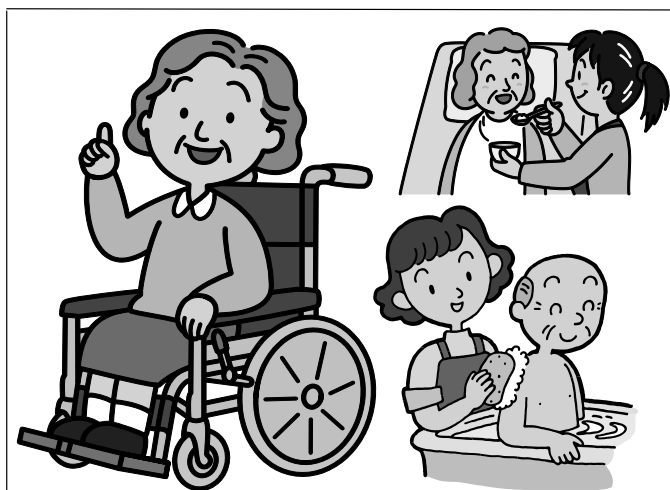
窪田 優

問 二〇三〇年頃の高齢者人口と高齢化率はどうなりますか。

答 民間の研究所の集計によると、一六、五四二人。三一・一％。

問 介護保険制度は信頼性の維持・向上で制度の安定性が重要ですが、それに伴う介護費用の増大、保険料の負担も課題になります。約四千人の人口、長野県栄村では村民に三級ヘルパー養成講座を開いた「村が開いてくれるなら」知識を得ようと九七名の応募があり、翌年開いた二級講習

を含め、一六〇人のヘルパーが誕生。村の社会福祉協議会に一四〇名のヘルパー登録があったと聞きました。富里でも計画しませんか。
答 要望はありません。過去には三級の講座を開いたことはあるが施設での仕事は三級より二級以上が適当ということもあって今は開いていません。



助け合う地域力再構築が鍵 (イラスト: MPC)

問 ボランティアセンターは重要で価値のある仕事をしていただいています。生活、交通弱者のための送迎ボランティアに需要と供給の問題はありませんか。

答 具体的に問題を示せないがマンパワーとして協力していただける人を募集する方法については重要と認識しています。

問 市民の心をもつなぐ子育て相互支援を

答 ファミリーサポートセンター事業検討

大川原きみ子

問 富里市次世代育成支援行動計画に位置づけられているファミリーサポートセンターは、地域において子供さんを預けたい親と預かりたい人があらかじめ会員となり急な用事などによって子育ての手助けが必要な時に子供を一時的に預かってもらえる子育てサポート事業です。設置へ向けての理解を伺います。

答 行動計画に事業として位置づけているところです。子育て支援事業を推進する上で有効でありま

問 『福祉マークについて』道路交通法の一部が改正され聴覚に障害のある方も「聴覚障害者標識」をつけ運転免許を取得できます。外見だけでは障害があるとわからない方がほかにたくさんいます。人に優しいまちづくりの観点から市公共施設等に福祉マークの標識と市ホームページ上に記載し啓発活動の一環として提案いたします。

答 市ホームページ上においては記載をしております。また、市公共施設等における福祉マークの標識については今後どのようなことができるか検討してまいります。



ハートプラス・マーク



聴覚障害者標識

人にやさしい街
・福祉マーク

問 学校耐震化計画、前倒しせよ

答 補助率の引き上げ、注視していく

立花廣介

問 中国の大地震のすさまじさを機に文科省は耐震化を早め、補助率引き上げ、期間短縮させる方針と報道されています。

去る3月議会では、市内の学校施設の耐震化を平成25年までに完了させる計画が公表され、私は、財政状況から判断して評価すると表明しました。しかし、文科省が財政支出増を

前提に年度目標を早める計画なら、再度検討して計画実施を前倒しすべきだと考えます。直ちに検討すべきと考えます。

答 学校耐震化計画についてですが、地震防災対策特別措置法を改正し、補助率を引き上げるとの報道がなされていますが、現在のところ確定したものではありませんので、今後の動向を注視してまいりたいと考えております。



耐震診断の必要な浩養幼稚園

『後期高齢者医療制度』

問 天引きは一種の差し押さえです。余りにも強権的すぎると思います。市長はあくまでも取りやすい、便利だという立場を主張するのですか。

答 保険料の徴収ですが、何らかの方法で納付してもらう必要があります。手間をかけないように口座振替があるように年金天引きも有効な方法と考えています。

問 不登校やいじめ問題について

答 小・中学校でいじめが把握されている

高橋保夫

問 不登校やいじめ問題で、市内の学校の現状はどのようになっていますか。

答 不登校の現状については、本市において三〇日以上欠席した者の数は、平成19年度では小学校二四名、中学校七四名でした。いじめ問題で、平成19年度の調査結果では小学校で一八件、中学校で七件のいじめが把握されており、この問題に対し、今後どのように対処していかれるのか。

問 この問題に対し、今後どのように対処していかれるのか。

答 不登校、いじめ問題について、引き続き把握実施に努め、その改善に取り組んでまいります。

『早寝早起朝ごはんについて』

問 早寝早起朝ごはんについて。

答 19年度文部科学省の調査では早寝早起きについて全国平均を上回っています。

問 夏休みのラジオ体操について。

答 生活リズム向上の一環として各団体や地域で開催していきたい。



活躍する青色パトロール車

『安全な街づくりについて』

問 安全な街づくりについて。

答 防犯指導員連合会並びに防犯パトロール隊の協力で防犯意識の高揚に努めているところです。

問 青色パトロールの増車を。

答 一台は間もなく贈呈されることになっています。増車については今後検討してまいります。

問 まちづくり寄附条例について

答 新たな財源確保のため制度整備を検討

布川好夫

『地球温暖化対策推進について』

問 二酸化炭素の排出削減について。

答 市民・事業者が地球温暖化問題に関心を持つような意識啓発を図り、二酸化炭素を初めとした温室効果ガスの排出削減の取組を推進します。

問 自然エネルギーの導入について。

答 温室効果ガスの排出を軽減し、再生可能なエネルギーとして太陽光・風力・バイオマスなどの自然エネルギーの活用が注目されている。今後、市の状況にあった自然エネルギーの活用について、調査・研究します。

『防災対策の推進について』

問 住宅の耐震化について。

答 平成27年までに住宅の耐震化率を九割までに引き上げることを目標としています。本年4月から、昭和56年5月31日以前に建築の着工がなされた木造住宅を対象として耐震診断を行った場合に五万円を限度としてその費用の二分の一を補助する制度を開始した。今後



財源確保し公園の整備を

も制度の周知に努めます。

問 公共施設の耐震化について。

答 市庁舎の耐震化について諸般の事情から実施するまでには至っていません。教育施設の耐震化については事業計画に基づき着実に推進していきます。

問 日吉台に市立保育所の設置を求める

答 市立でなく民間でやりたい

中野信二

『日吉台地区の諸問題』

問 市立保育所の早期設置を。

答 市立保育所はやらない。民間にやってもらう。もしつくるとしても、公設民営でやりたい。

問 市立でなく民間でやる理由は。

答 保育所の施設整備は、次世代育成支援対策施設整備交付金を活用する。その対象は社会福祉法人等の民間となっている。市立は対象外であり、財政圧迫等の問題がある。運営面でも私立は国・県の負担金があるが、市立にはない。

問 現在ある民間計画は。

答 社会福祉法人が日吉台周辺に土地を購入したと聞いている。保育所ないし認定こども園をやりたいと人づてに聞いている。

問 駐輪場増設計画の推進について。

答 既設駐輪場隣接地の中弘川を活用し二四〇台増設し、四〇〇台確保する。成田市との



待たれる駐輪場の早期増設！

協議を終了し、現在、隣接地権者と敷地管理を協議中。また、徳洲会と同病院隣接地の貸借協議を今後進めていく。

問 汚水処理場跡地の利用計画はどうなっているか。

答 使い勝手が悪い土地形態のため、道路整備も合わせて周辺整備を図っていく方がより効率的であると考えるが、現在そこに至る段階にはない。

問 公民館・北部コミセン使用料の見直し

答 市の財政状況などから厳しい状況です

猪狩一郎

問 公民館・北部コミセンの使用料の見直しの要望がありますが、市の考えを伺います。

答 市の財政状況などから、現在のところ厳しい状況であると考えています。

『日吉台共有施設管理組合』

問 もし仮に、施設が自然災害または将来限界にて停止した場合、真空ごみ輸送施設の撤去について、市はどういう判断をされるのか。

答 管理組合の責任で撤去すべきものであると考えています。

問 特に、埋設されているごみ輸送管撤去方法は、日吉台地区住民の負担にならない、モルタル充てんにてお願いしたいとの強い要望があるので、この件について。

答 原則、所有者で施設を撤去し、原状回復することとなります。

問 ごみ収集場所については。

答 ステーション方式への移行は可能であると考えます。



富里中央公民館

『地域包括支援センター』

問 要支援1、要支援2の方々への扱いはどのように。

答 地域包括支援センターが介護予防ケアプランを策定することとなり、利用者の意思や意欲を尊重しながら、介護が必要な状態にならないことを目標に介護予防サービスの提供をしています。

問 市の浄化槽政策に誤りがあるのでは

答 大変ご迷惑をかけた事実があります

秋本真利

問 県は補助金制度を見直し人槽間の流用を可としたが市はそれを把握できずに不可としていた。本来は補助できた事業があったのでは。

答 運用の見直しを把握できず迷惑をかけた事実がある。該当者にはきちんと対応させていただきたい。

問 流用を可としたことの再広報と今後の予算の拡充を要望したい。

答 状況を見ながらだが来年以降は周知を徹底。予算は振り向けたい。

『基盤整備について』

問 空港圏の連携・機能波及のためリニアシャトルを実現してほしい。

答 成田市長を伴って視察を実施した。実現へ積極的に取り組みたい。

問 富里保育園前の歩道整備を引き続き要望。地元からの要望もある。

答 優先順位を明確にし、て県と協議。



手狭な現駐輪場と拡張予定地

『各種政策・事業について』

問 東京、富里間の高速バスを増便。

答 最終便の増を事業者に申し入れ。

問 スイカロードレースをもっとま

答 ちづくりにより有効利用するべきでは。

問 施策を模索し更に市のPR充実。

答 学校管理規則の今後の展開は。

問 改正も含めて学校を支援したい。

問 日吉台駐輪場について数年間質問してきたが前議会で拡張する旨の答弁があった。時期と予算額は。

答 来年度中の拡張を努力する。予算額は約九〇〇万円を予定。

問 成田国際空港都市づくりについて

答 成田空港を核に協力発展する事が重要

中間幸一

問 一市四町首長懇談会の概要と市長の取組についてお聞かせください。

答 平成18年12月、千葉県は「千葉県市町村合併推進構想」が策定され、成田市、富里市、栄町、神崎町、多古町、芝山町から成る二市四町の枠組みが提示されました。しかしながら新生成田市は慎重な姿勢を示され具体的な話し合いが進まない状況にありました。しかしながら成田空港を核として協力し合い互いに発展していくことが大変重要なことから成田市市長了承のもと一市四町の首長による懇談会として始めることとなったものです。第一回は平成19年11月開催、懇談会の目的を成田市への合併の働きかけを協議する場として二市四町の合併に向けて検討を進めることとしました。第二回は12月、各市町の資源をテーマに、第三回



(資料：千葉県)
活力ある国際空港都市の実現

問 県の医療費助成と市の対応について

答 現行制度堅持する

柏崎のり子

問 千葉県「子ども医療費助成」は10月から小学校就学前まで対象が広がります。しかし、病院の窓口負担引き上げ、所得制限も導入されます。本市において現行制度を堅持し安心の子育てを支援すべきと考えます。

答 昨年8月から県に上乗せし市独自で実施してきた。県議会においては乳幼児医療費助成がよりよい制度になるよう附帯決議がされており、本年10月以降、県の制度は確定していない。市としては現行の助成を維持する。

問 現行どおりは、市民からも評価、歓迎されるものと思います。

県下市町村では中学校卒業までや小学校卒業まで、小学校四年生までや小学校三年生までなど、積極的に実施している所もあります。

「就学前は当たり前」になつてきています。助成年齢を引き上げる考えはありませんか。

答 財政が厳しいので難しい。現



お母さんの願い安心の子育て

行の助成を堅持していきたい。
問 子供はどこに生まれ住んでも等しく大切にされなければなりません。国の制度として実施すべきです。国が一番遅れています。市長会として国に求めるべきです。
答 国がやるべきと思っている。今後、要望していきたい。



(6 月中旬撮影)

富里中央公園・湿生植物園

議会を傍聴しませんか 9月定例会は 8月29日(金)から開会予定です。

詳しい日程などは議会事務局にお問い合わせください。
本会議の様子は市民課ロビー（市庁舎1階）のテレビでも
ご覧いただくことができます。

ご意見・ご感想をお寄せください！

議会報を読んで感じたことなど
皆様のご意見をお待ちしております。
また、議会報は市議会ホームページでも
ご覧いただくことができます。

〒286-0292 富里市七栄652-1 議会事務局
TEL. 0476-93-1111 FAX. 0476-91-3595

富里市議会ホームページアドレス

<http://www.city.tomisato.chiba.jp/gikai/index.html>

編集後記

今年も6月22日に、富里市のビッグイベント「スイカロードレース大会」が開催されました。年々参加者が増えて、昨年は15,000人を超えましたが、今年は大会の安全確保とスムーズな運営のために、12,000人に参加者を絞り実施されました。全国から集まった多くのランナーたちは、カラフルなユニフォームや趣向を凝らしたユニークなコスチュームに身を包み、それぞれのペースでレースを楽しみ、富里のスイカの味を満喫してくれました。

この大会はスイカの生産者農家の方たちの多大のご尽力、そしてたくさんのボランティアの人たちの協力によって成り立っていますが、富里市民全体で今後ともますます盛り上げていきたいと思います。

この議会報が皆さまのお手元に届くころには、北京オリンピックが始まっており、日本選手の活躍やメダルの期待に日本中が盛り上がっていることでしょう。議会報も皆さまの意見や要望等取り上げながら少しでも充実したものにしていきたいと考えておりますのでよろしく願います。
(塩田和夫 記)

とみさと議会報編集特別委員会

委員長 / 窪田 優 副委員長 / 高橋益枝 委員 / 塩田和夫、原 清一、立花廣介、大川原きみ子、高橋保夫